

2014年8月7日

宛 枚方市長

香里ヶ丘を愛する市民有志

代表 古谷 學

枚方市香里ヶ丘2丁目11-5

090-4640-4212

## 市民の義憤

香里ヶ丘中央公園は、市民の公園です。市民の理解が得られないまゝ、また理解を得ようとせず、一人の寄付者の意向だけを汲み取り、リニューアルといって一方的に自然の森の樹木をなぎ倒し、小山や丘陵地を削り取ることは、自然と人間の共生を否定する暴挙です。「市民の声に耳を傾ける」というあなたの言葉がむなしく聞こえます。私たちは、あなたのかかる言動について強く抗議するとともに、美術館建設計画の白紙撤回を求めます。

市民から選ばれた市長としての矜持を持ってください。

香里ヶ丘には16の公園、1つの庭園があります。地元住民の熱い想いが、戦争中の負の遺産であったこの地を、平和利用目的として、国を動かし住宅地に変えさせたのであります。丘陵地や土墨的地形、雑木林等の里山的緑地を生かした住宅地として、当時の最高の技術者による開発計画が策定されました。

完成された姿を、今、私たちは享受しています。そうして、このことが枚方の今日の発展につながってきたのであります。

さて、16の公園のなかで、香里ヶ丘中央公園は、その核的存在と位置づけし、自然と人工との調和という当時の設計思想が残っている場所であります。

このような緑地と工作物とのバランスの中で作られた公園に、さらに人工の庭園や大規模な工作物を作ることは、全体の景観を壊すばかりか、自然の体系を破壊することになります。この度の開発は、地下水が流れている水脈を破壊することにもつながりかねません。この地のはずれに、ひっそりと息づいている蒲の穂をご存知でしょうか。

地の声、森の声、人の声に耳を傾け、心豊かな街づくりにしようではありませんか。40万人都市中核市としての枚方が、他市に誇れる市としての評価を得られるか否かは、市長の手腕にかかっています。

今一度あなたに呼びかけます。多くの市民は、白紙撤回を求めています。

市長、目先の利益にとらわれることなく、市民の代表として、後世に禍根を残さない判断をしてください。

そして、市長のその判断が、市民の記憶に末永く残るのではないのでしょうか。

以上